都市住宅学会　シンポジウム

空き家問題の本質と適正管理・事業化・地域活性

入場無料

日時：平成 26 年 10 月 25 日（土）　13:30～17:00

会場：上智大学　12 号館 302 号室

（四ツ谷駅徒歩５分、上智大学北門すぐ　東京都千代田区紀尾井町 7－1）

主催：公益社団法人　都市住宅学会

後援：国土交通省、公益社団法人日本不動産学会

企画趣旨

本シンポジウムでは、空き家の急増問題の全国的な広がりを踏まえ、近年の空き家の適正管理や活用に関する都市住宅学会の学際的アプローチに基づく研究成果を、研究者や行政担当者、民間実務者のみならず、空き家増加に不安を抱く一般市民や、空き家になった地方の実家の活用に悩みを持つ都市住民にも広く公開し、問題の本質、問題発生の防止・予防のあり方、適正管理の事業化、行政・地域住民・ＮＰＯ・民間事業者等の連携の必要性や可能性などを明らかにして、人口減少社会における都市の縮小や住宅地再編の姿を構想することとする。今回は、空き家を空き家のまま適正管理する事業を行っている事業者をシンポジウムに招聘し、新たな切り口を提示することも試みる。

プログラム

13:30　開会挨拶　：浅見泰司　都市住宅学会副会長
（東京大学大学院工学系研究科教授）

13:35　趣旨説明　：北村喜宣　シンポジウムコーディネーター
（上智大学法科大学院教授）

13:50　講演（各 20 分）

1）行武憲史（公益財団法人日本住宅総合センター主任研究員）
「全国における空き家化の実態と空き家の地域特性

2）宗健（リクルート住まい研究所所長）
「SUUMO 掲載データを用いた空き家率の推定と滅失権取引の可能性」

3）作野広和（島根大学教育学部教授）
「中山間地域における空き家の実態と地域づくりのための空き家活用」

4）粟津貴史（埼玉県川口市技監兼都市計画部長）
「川口市の空き家等の実態と空き家等適正管理条例等による取組み」

5）明石卓巳（株式会社レイデックス代表取締役）
「岡山市問屋町が倉庫街から賑わう街に変わるまで」

6）小林浩（東急リバブル株式会社）
「空き家サポートサービス事業化の背景と今後の展望」

16:00　パネルディスカッション
コーディネーター：北村喜宣
パネリスト　　：行武憲史、宗健、作野広和、粟津貴史、明石卓巳、小林浩

17:00　閉会

定　　員：先着 180 名

お申込み：下記問合せ先に、ご所属、お名前、連絡先を記載したメール又は FAX でお申し込み下さい。※複数名ご参加の場合は全員のお名前をご記入下さい。受講票は特にお渡ししません。当日の会場受付も可能です。

問合せ先：公益社団法人　都市住宅学会事務局　伊藤
e-mail: t-info@uhs.gr.jp　fax:03-5211-0598　tel:03-5211-0597

インターネットで実況中継（Ustream）：当日、http://www.ustream.tv/channel/uhs-20141025（予定）をご覧ください。※確定したアドレスは都市住宅学会ホームページ http://www.uhs.gr.jp のトップページお知らせ欄にリンクを設定します。